
サンプル版 新入社員研修

成長の SWITCH ノート

～導入研修編(Introduction)～

目次（※サンプル版のため内容を抜粋しております）

I SWITCHノートの使い方と「立場が変わる」事について理解する

SWITCH ノートの使い方	
組織人としての成長のコンパス「GLOW」の紹介	
立場がどう変わるのか？を考えてみよう	
時間がないからこそ！の勉強術をご紹介	

II 自分が働く会社について理解を深める

自社のミッション、ビジョンについて整理しよう！	
自社の業務内容について理解しよう！	
自社のルールを理解しよう！	
自社の組織図について理解しよう！	
自社の歴史について理解しよう！	
自社の「顧客」について考えよう！	
「顧客の期待に応える」ということについて考えてみよう！	
「コンプライアンス」とは何かについて理解しよう！	

III 会社に入って最初にする仕事に向けて準備する

自己紹介のポイントを理解しよう！	
仕事の基本を覚えよう！	
「報告・連絡・相談」を身につけよう！	
目標と方針を理解しよう！	
自社の目標・方針や行動指針を理解しよう！	
計画の作り方を理解しよう！	
4月の目標と計画を作ってみよう！	

IV 会社に入ってからの基本行動「ビジネスマナー」を習得する

ビジネスマナーはなぜ重要か？を考えてみよう！	
知っておきたいビジネスマナー 身だしなみ編	
知っておきたいビジネスマナー 席次編	
知っておきたいビジネスマナー 名刺交換編	
知っておきたいビジネスマナー 敬語編	
ビジネス文書の基礎について理解しよう！	
Eメール作成の基本 Eメールを使いこなそう！	
すぐにできる時短テクニックのご紹介	
電話対応の基本を押さえよう！	
電話対応の SCRIPT（台本）を作ってみよう！	
電話対応 「違い」がわかれば怖くない！	
マナーのQ&A	

V 研修内容とPDCAサイクルを回す習慣を身につけ、OJT/配属に向けて準備する

GLOW診断のレーダーチャート	
研修ノート	

SWITCHノート使い方

このノートは、「新入社員の成長のためのスイッチ（＝日々学ぶための意識や行動習慣）」を切り替えるためのノウハウが詰まったノートです。

1日1日の研修テーマに対して、目的・目標を持って取り組んで、成長のPDCAサイクルを回してください。

※PDCAサイクルとは？⇒P39 参照



①SWITCH ノートとは

修学旅行の時に「修学旅行のしおり」を作った方も多いことでしょう。

このノートは新入社員の皆さんが「学びの成果」を最大化するために開発された「新入社員生活のしおり」です。

SWITCH ノートは「導入研修編」と「OJT編」の2冊セットです。



②研修を受講する前に

研修を受講する前に

「今日は何を受講するのか」

「一日が終わった時に何を習得できていたらよいか」

を考え、自分なりに目的と目標を整理してみることが大切です。

人事部・教育担当の方は意図、ねらいをもって新入社員研修を設計・運営しています。

誰かが何かを教えてくれるのを待って、受け身の姿勢でただ机に座っているのは勿体ないことです。

学習効果を最大化するためにも、目的・目標意識を持って研修に取り組みましょう！

※研修ノートはP82から



③研修を受講している間にも

新入社員研修では多くの場面で講義、講話、グループ討議やロールプレイングを通して

「自社で働く上で知っておかなければならないこと」

「社会人として知っておかなければならないこと」

を学習します。

自分の知ったこと、気づいたことをこのノートにどんどん書き込みましょう。

※メモの取り方のヒントも掲載しています（P10 参照）ので参考にしてみてください。



④研修を受講した後に

将棋のプロは試合後にもう一度同じ手を指し直す「感想戦」を行います。「感想戦」とは、自分の指し手や局面を客観的に見直し、手の良さ悪しなどをじっくり考え次戦につなげるために行うものです。

プロの世界ではこの「感想戦」が非常に重要だそうです。私たちも今日学んだこと、研修を受講した後の感想をきちんと残しておきましょう。

また、今日一日の研修を振り返って、もしも分からなかったことや疑問に思ったことがあったらここで整理し、きちんと疑問を解決しておくことが重要です。



⑤そしてOJTでも

部署に配属されても、しばらくの間、皆さんはOJTという形で上司や先輩に仕事を教えてもらうことになります。

OJTとは「On the Job Training」、つまり「職務を通じた学習・訓練」のことです。

「SWITCHノート OJT編」は、配属後に上司・先輩との「文通」に使えるようになっています。

先輩から皆さんに「こういうスケジュールの中でこういうことを学んでほしい」と、伝えていただく時に使用します。

逆に皆さんは自分が「分かったこと」「できなかったこと」などをこのノートを通じて先輩や上司に伝えてください。

先輩方も、皆さんが早く一人前になれるよう、忙しい中仕事を教えてくれます。期待に応えて、早く一人前になれるように頑張ってください！



⑥社会人の学習

会社に勤めてからする学習は学生のものとは質が違います。学生の学習スタイルはインプットが中心で「知っていること」が評価されます。

しかし、社会人の学習はインプットしたら必ず行動、成果、アウトプットが求められます。

また、今までのように学習に長い時間をかけにくくなります。新入社員のうちに「良い学習習慣」を身につけ、実践していきましょう。

身につけたものは必ず成果として発揮する日が来るはずですよ。

※P10～に「時間がないからこそ！の勉強術」を紹介していますので、参考にしてみてください。

**小さな意識のスイッチを押すか押さないかが大きな違いを生み出します。
そしてそのスイッチを押すのはあなた自身なのです。**

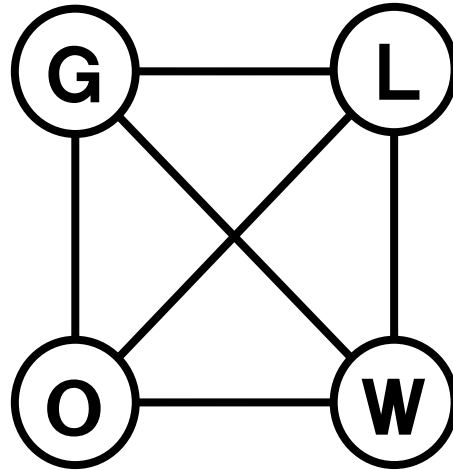
組織人としての成長のコンパス「GLOW」の紹介

このノートでは企業で働く組織人としての学習と成長のテーマを「GLOW」という指針で提示しています。

「GLOW」の各項目の解説は以下の通りですが、一つ一つの項目が独立しているのではなく相互に関連し、補い合う関係となっています。

Growth

自己成長に関する
意識・行動



Loyalty

会社や仕事への
興味・関心

Oriented to

customer satisfaction

顧客満足を高める意識・行動

Widening

influence

組織への影響力

◆GLOW の構成要素

【Growth 自己成長に関する意識・行動】

自分自身の成長・成果に責任を持ち、自立的に行動すること

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 《目的・目標意識》 | その仕事の目的・目標を意識しながら行動できる |
| 《向上心》 | 常に自分自身の成長のために責任を持って努力できる |
| 《自立的行動》 | 自主性・積極性を持って考え、行動できる |
| 《ストレス耐性》 | 自分なりにストレスに対処するための柔軟性、強さを持っている |

【Loyalty 会社や仕事への興味・関心】

自社の仕事、ミッション、業務に興味・関心・熱意を持つこと

- | | |
|-------------|---|
| 《経営ビジョンの理解》 | 会社が向かう方向を理解し、それに合わせて仕事を進めることができる |
| 《会社の歴史の理解》 | 会社や顧客、社会への貢献の歴史を理解し、自社の一員としてふさわしい行動ができる |
| 《商品・サービス知識》 | 自社の取り扱っている商品・サービスについて理解している |
| 《ルールを守る力》 | 法律、社内のルール・約束を守って健全に行動することができる |

【Oriented to customer satisfaction 顧客満足を高める意識・行動】

顧客満足を志向し、顧客を知り業務の研鑽・改善を続けること

- 《顧客の理解》 自社の顧客を理解した行動ができる
- 《マナー》 自社の社員として顧客に評価される行動ができる
- 《問題分析・解決》 顧客に期待されていることを掴み、応える力をつける
- 《改善力》 常に仕事の成果を高めるための努力ができる

【Widening influence 組織への影響力を高める意識・行動】

組織に対してよい影響力を発揮すること

- 《コミュニケーション力》 成果に向けて適切な表現で情報交換ができる
- 《巻き込む力》 成果に向けて周囲を巻き込むことができる
- 《チームワーク力》 組織の一員として協力・連携した行動ができる
- 《多様性受容力》 異なる価値観や文化を受容し、その中でも協調しながら行動できる



<GLOWという観点で思ったこと・考えたことを書いてみよう>

立場がどう変わるのか？を考えてみよう

◆今までとどう変わるのか？を理解して生活をきちんと切り替えよう

みなさん、ご入社おめでとうございます。

会社に入る、就職する、という変化は一生を通して、とても大きな変化と言えます。

このページを今読んでいる方の中にも生活環境が大きく変わって、この先のことを不安に思ったり、期待に胸を膨らませている方もいらっしゃるかもしれません。

この大切な人生の節目の時期に自分自身の生活をきちんと切り替えるためにも、またこの変化を受け止めて、これから先しっかりと成長をしていくためにも、「どういう会社に入るのか」「求められる行動は何か」「今までの生活とはどこが変わってくるのか」を自分なりに整理し、理解することはとても重要なことです。

ここでは、「学生と社会人、社会人と自社の組織人の違い」について考えます。

	学生	社会人	自社の組織人

→自分の考えをまとめてから次のページに進んでください

さて、いかがでしたか？

様々な意見が出たでしょうし、その多くは恐らく間違いではないと思います。「正しい行動をとるには『正しい行動とは何か』を知らなければできない」と言われています。ここでは、それぞれの立場、求められることについて重要なポイントを解説させていただきます。

◆「社会人」について

学生と社会人はどこが違うのか、新入社員研修や採用面接では定番の質問です。皆さんは社会人とはどういう存在だと考えますか？一つ押さえていただきたいことは、「社会人は社会に貢献する存在である」ということです。皆さんは会社に勤めて会社で活動することを通して社会に貢献していくことになります。

その貢献に対して、報酬としてお給料をいただくことになるのです。

「自社の活動を通して自分は社会の役に立っている」ことを実感できると、それが仕事のやりがいや面白さに繋がってきます。

従って、自社はどういう会社で、どういう風に社会の役に立っているのか、今後何を目指していくのかを理解することは組織に所属するものとして非常に重要なことです。

SWITCH ノートでも、P18 以降で自社のミッション、活動を理解するページを用意していますので、また後ほどゆっくりと考えてみましょう。

◆「自社の組織人」について

今後、皆さんは会社に所属し、仕事をする中で社会に貢献する社会人になります。

社会人になるのと同時に「組織人」になり、その瞬間から、たとえ新入社員であっても「会社の看板を背負っている人」になるのです。

組織の中で正しく、スムーズに仕事をしていくためには、仕事に関連する法律や社内のルール、マナー、人間関係、仕事の進め方にも十分な理解と配慮をしていかなければなりません。プロの組織人、自社人財として活躍するために、「会社に所属すること」「会社の看板を背負うこと」の意味をよく理解し、自分の所属する会社の看板に恥じない行動ができるようになってください。

時間がないからこそ！の勉強術をご紹介

◆時間がない人に最適！コーネル大学式ノート術とは

大学生の授業のまとめ方などで有名なコーネル大学式ノート術というものをご存じでしょうか？

これは大学生だけではなくてビジネスの会議などにも有効なのでオススメです。やり方はカンタンです。

①ノートの1ページを3ブロックに分けて使う。

②Note

右側は通常のノートと同じように使う。

箇条書き・簡潔な文章を心がける。

また、自分だけの省略記号を使うとスピーディーに多くの情報を処理できるようになる。

例えば：

ex 例えば but しかし など。

③Cues

左側は会議が終わった後に書き込む。

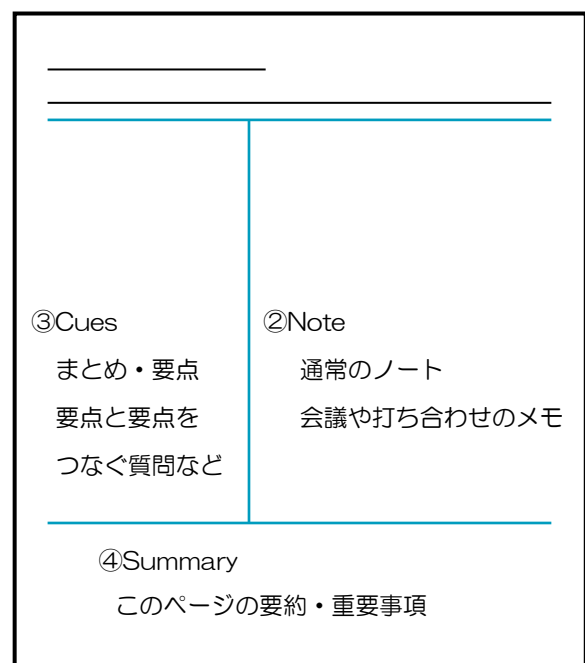
ノートを思い出すのに役に立つ単語や情報を記入する。

④Summary

この欄にはそのページ全体の要約を記入する。

このやり方で記入すると、後から見直した時に情報が整理されていて頭に入りやすくなります。

是非一度試してみてください。



「コンプライアンス」とは何かについて理解しよう！

◆「コンプライアンス」なくして企業経営なし！

テレビをつけるとニュースで企業不祥事について報道しているのを目にすることも多いと思います。

企業不祥事は一個人、一消費者の目線で言ったら「困ったもんだ」「へえー大変だなあ」「こういう会社には何か問題があるからこうなるんだろう」と対岸の火事のような意見を言ってしまうがちですが、これから皆さんが会社に入っている仕事と企業不祥事は決して無関係ではありません。

前項で顧客の期待に応える（P30）というお話をさせていただきましたが、顧客の期待に応え、ビジネスを進める前に企業不祥事を起こさないこと、社会に害を為さないことが大前提です。まさに「コンプライアンス」なくして企業経営なし、と言えるのです。

一昔前の企業不祥事は上層部の利益追求姿勢と遵法精神（＝法律を守る精神）の軽視や経営判断に問題があった、という報道が多かったのですが、近年ではそれに加えて「組織現場の倫理面の問題」も多く報道されるようになってきました。

近年では例えば、不動産会社の社員の方が「芸能人夫婦がお店に物件を探しに来た」とお客様の情報をSNSに書いたり、自治体の職員の女性が何気なくネットに公開した写真に重要な個人情報に類する書類が写っていた、という事件が起っています。

つまり、仕事で知ったことをSNS上に不適切に発信すれば、新入社員の皆さんの仕事であっても十分全国ニュースレベルの事件になりうるのです。

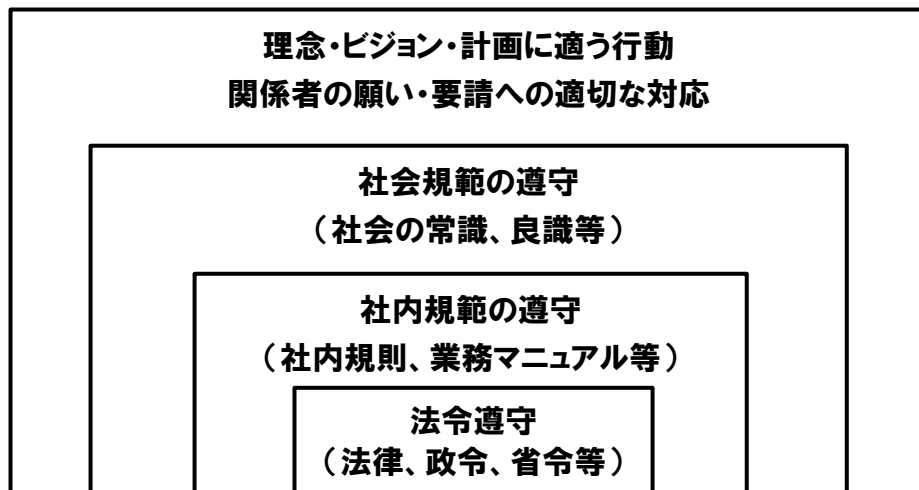
会社に入って企業組織の一員となったからには、我々は会社の看板を背負って業務をしています。業務中に知ったことをネット上に公開してそれが問題になるようなことは決してあってはなりません。

「コンプライアンス」という言葉の持つ意味は段々と拡大してきています。

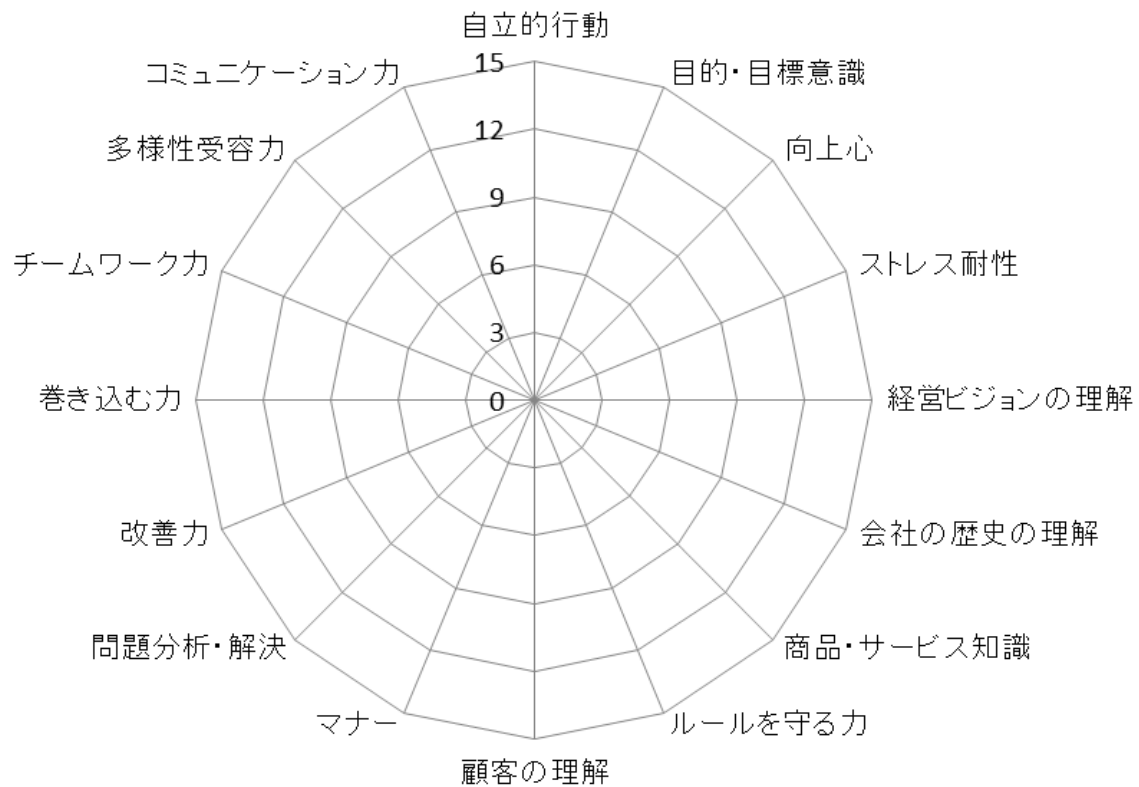
かつては「コンプライアンス＝法令遵守」という理解でよかったですのですが、現在では下の図のように「社会規範や企業倫理の遵守」といったレベルまで求められるようになってきています。

会社の一員となるからには、普段から高い職業倫理、組織倫理、仕事への良い志と考え方を持つことが求められます。

ここでは、良き組織人として仕事をするために自社のコンプライアンスに関する取り組みを理解します。



GLOW診断のレーダーチャート



【行動計画】 診断の結果を受けて明日からどういう行動を心がけますか？

研修ノート

【研修日】 月 日 ()

今日の研修の目的、目標は何ですか？

目的（テーマ/今日やること）

目標（覚えたいこと/今日への意気込み）

今日の研修の振り返り ~感じたこと、考えたこと、良かった点など~

今日の反省点

改善策・解決策

【メンバーからのコメント】

【研修担当者からのコメント】

